

H 邸ピアノ室防音工事

Case of Sound Clinic

1. はじめに

お客様はプロのピアニストで、新築のマンションを購入するに当たって、隣戸や直上直下のお部屋に迷惑を掛けずに自由に練習をすることができるお部屋をご希望されていました。最初にいただいたご要望は以下の通りでした。

- グランドピアノが2台置ける広さであること
- 数多くあるステージ衣装をできるだけ収納できるスペースを持つこと
- ホテルのようなインテリアであること
- ピアノを弾いても直上直下階及び隣戸から苦情が来ない遮音性能であること

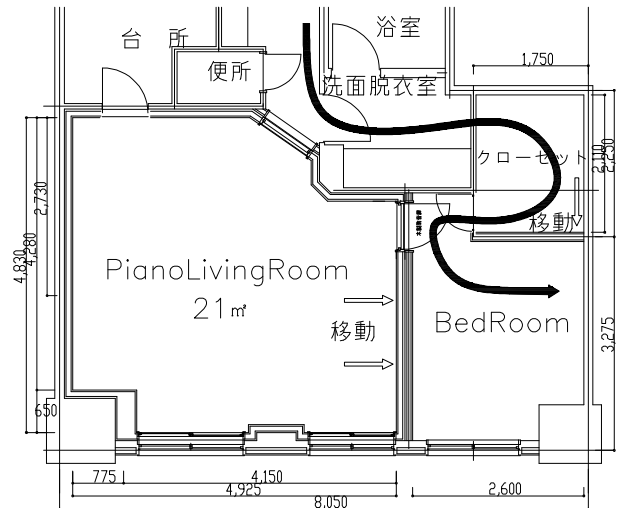


2. 平面計画形状検討

新築のマンションは2LDKのプラン、リビングは8畳程度であり、YAMAHA・STEINWAYのグランドピアノを並べてレイアウトするには不十分な広さで、またクローゼットはたくさんの衣装を収めるには不安な広さでした。そこで次の提案をさせていただきました。

- リビングとリビングの隣の部屋を1室とし、ピアノリビングルームとする。
- ベッドルームをお持ちのベッドが納まる最小のスペースとしてできるだけクローゼットを大きくする。
- ピアノ室を教室として使用時に、ピアノ室を通らず

にベッドルームに移動できる動線を確保する。



平面レイアウト

3. インテリアプラン 遮音プラン

遮音仕様は1重の浮遮音層で構成するBox in Box構造とし、仕上げはホテルのようなインテリアをご要望と聞き、仕上げを下記のように提案しました。

部分	遮音仕様	仕上げ
床	乾式浮床	ローズウッド無垢15t
壁	1重浮遮音壁	ビニルクロス
天井	1重浮遮音天井	岩綿吸音板
建具	木製防音建具	突板仕上
家具	-	Fritz Haller USM

4. 最後に

「家から出たくないほどこの部屋を気に入っている」
「わざわざこの部屋が見えるホテルに泊って、この部屋を双眼鏡で見た」等うれしい言葉を頂き、お客様のご要望に沿えたことを大変うれしく思っています。